

小児整形外科疾患のご紹介 ありがとうございます

初めてニュースレターを書かせてもらいます。昨年
から三重病院で西山先生といっしょに小児整形外科の
診療をさせていただいている多喜です。よろしくお願
いします。

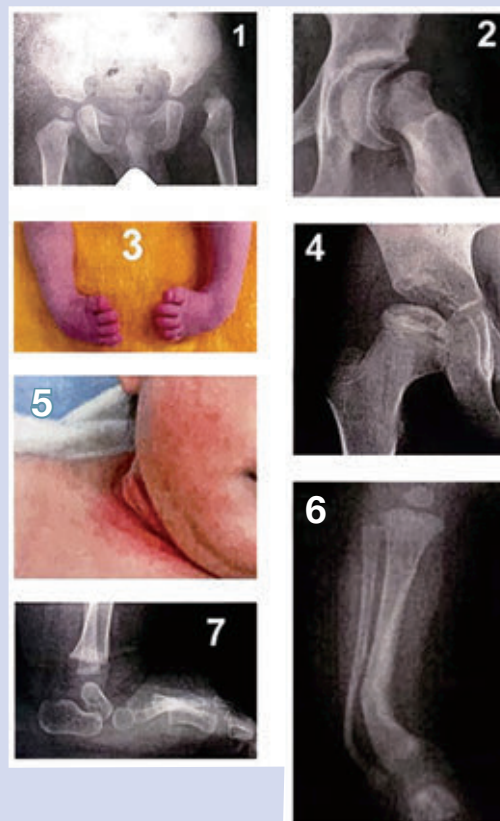
2020年1月より、全国調査として、小児整形外科
の代表的な7疾患の学会登録が始まっています。三重
県中の小児科・整形外科・産科の先生方には、いつもた
くさんの紹介をいただきありがとうございます。1年
半の間に登録させていただいた7疾患の人数は表のと
おりで、乳児股関節脱臼(発育性股関節形成不全、先
天性股関節脱臼)、先天性内反足が多く、治療を行っ
ています。これからもよろしくお願いいたします。

7疾患の中で乳児股関節脱臼が一番多い結果となり
ましたが、発生頻度は、約1000人に1人で、女の子
の方が約9倍多いと言われています。2020年の1年
間で、股関節の診察のために三重病院を受診されたの
は48人でしたが、そのうち脱臼は9人(19%)、正常
27人(56%)、臼蓋発育に問題があったのが12人
(25%)でした。脱臼の治療は、リーメンビューゲル
という装具7人、入院による牽引2人で、全例整復され
ました。脱臼ではないけど臼蓋発育に問題があった
赤ちゃんのうち生活指導などで正常化したのが7人
(58%)で、正常化しなかった5人は遺伝的な要素が考
えられる両側例だけでした。半数以上は問題のない赤
ちゃんでしたが、発見が遅くなると股関節の発育がう

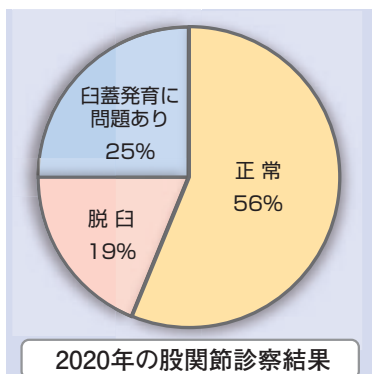
まくいかず、若いう
ちに軟骨がすり減っ
て痛みや運動制限を
起こすことがありま
すので、乳児期の関
りがとても大切だと
考えています。

乳児の股関節に
とってよい関わり
は、「1.コアラ抱っこ」

「2.脚の動きを制限しない」「3.向き癖を直す」となり
ます。ご相談のあるかたは、当院整形外科に気軽にご
相談ください。また、過去のニュースレターで詳しく
紹介していますので、2014年2月号、2017年12月
号をご覧ください。 <https://mie.hosp.go.jp/letter>



疾患	2020年1月～2021年6月
1. 乳児股関節脱臼	12
2. 大腿骨頭すべり症	1
3. 先天性内反足	8
4. ペルテス病	3
5. 筋性斜頸	5
6. 先天性下腿骨偽関節	1
7. 先天性垂直距骨	0



(整形外科 多喜 祥子)